

# 今を未来に

## 今日から1週間「保々中学校区学びの一体化」の研修会が始まりました。

1年間の中で、1学期には保々中学校と保々小学校が、2学期には保々幼稚園と保々保育園が公開し、それぞれの校園の様子を参観し合い、18年間の育ちのプログラムの6視点に合わせて、保幼小中の職員が1年間同じ視点で追究していくグループに分かれて、研修を進めています。

今日はその第1日目で、保々中・保幼の先生、保育士さんが参観に来てくれました。小学校は24日・25日・28日、

中学校は29日・30日に公開となっています。6視点(だいすき・つながる、じっくり・やってみる、すこやか・まなぶ)の力を子どもたちにつけていくことで、「今」が未来につながると考え、この授業研修会を続けてきています。保育園や幼稚園の先生・保育士さんが来てくれると、「あっ!〇〇先生や。」とにっこり反応する子、中学校の先生が来てくれると気のせいかちょっぴり緊張する子がいます。普段通りのみなさんの姿を見ていただけるといいなど、校長先生は思っています。



## 下校について、質問がありました。

下校の仕方について、前号でお知らせしたことについて、「毎日、どう帰るのかを連絡帳で書かなければいけませんか。」「それなら、一覧表のような表を作った方が確実なのではないか。」というご質問でした。このことも含めて、もう一度下校の原則から確認をさせていただきます。

### 【下校の原則】

- ・1年生は1年間、帰りの会后運動場に地区別に並ぶ。学童へ行く子は別の列を作る。毎日集団下校。
- ・2年生は、1学期の間は1年生の時と同じように、地区別で集合して帰る。子どもたちの様子を見ながら、3年生以上の下校方法に切り替えていく。切り替える時は、学年だよりでお知らせする。
- ・3年生以上は、運動場で整列はしないが、近所の子と一緒に誘い合って帰る。同学年で一緒に帰る子がいない場合は、上級生と一緒に帰る。上級生も一人で帰っている下級生を見かけたら、声をかける。

### 【原則以外の下校をする場合は、連絡帳でお知らせください】

- ・曜日で学童保育所へ行くことが決まっている、習い事に寄る事が決まっている場合は、年度のはじめに連絡帳に書いて担任に知らせてください。(自動更新ではありません。次年度からは、家庭環境調査票の特記事項に書いていただきます。また、習い事に途中で寄る時に通常の通学路から外れた時点で、けがをした場合のスポーツ振興センターの補償対象から外れます。また、習い事が終わって帰宅する時にたとえ通学路を通って帰っていても、スポーツ振興センターの補償対象外の扱いになります。社会体育でサッカーの子どもたちが帰宅せずにそのまま練習に入る日がありますが、サッカーの練習に参加した時点で下校したという扱いになることは、保護者の方もご了解いただいております。)
- ・原則の下校方法や連絡帳で事前に伝えていただいている方法と違う形で下校をさせる場合は、その都度連絡帳で担任までお知らせください。(高学年も同じです。)

- ・連絡帳で伝えることができず、急に帰宅先が変わる、或いはお迎えになるという場合は今までも電話で連絡をいただいていた。このケースは極力避けていただきたいのですが、急用ができる場合もあるかと思っておりますので、そのように対応させていただいています。連絡を受けた職員が担任に伝え、お子様に伝えています。
- ・上記の点を守っていただければ大丈夫なのですが、時々低学年のお子さんの場合、保護者から伝えていただいている帰宅方法と違うことを言い出すお子さんがみえます。その場合、緊急連絡先の1番の方に連絡を入れ、確認をとらせてもらっています。が、電話をとっていただけない方も多く、その場合は原則学校待機になります。

「担任によって対応方法が違うのではないか。」上記質問にはそのようなお気持ちも含まれていましたので、このように整理をさせていただきました。「今までは・・・」というご意見もあるかと思っておりますが、今後については、上記のようにご協力いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

## 【子どもの様子から】

### 算数習熟度別授業が始まっています。

5年生の算数を中心に、少人数授業で習熟度別の授業が始まっています。昨年度までは算数科でTTの授業をどう展開すると、子どもたちに学力がついていくかを本校は研究してきました。本年度からは昨年度までと同じ県の事業「わかる授業」推進事業を改めて受けることになり、その授業方法が少人数の習熟度別となったためです。今の単元では、1時間TTで授業を行い、確認プリントをして、その時の困り感で2つのグループに分けました。今後は、単元でグループを組み直し、「ゆっくり・じっくりコース」と「ぐんぐんコース」に分かれていく予定です。どちらのコースに入るかは、子どもたちと相談をして決めていきます。学習する内容が違うのではなく、問題を解いていく過程に違いがあり、「ゆっくり・じっくりコース」の場合は、問題の読み取りから一緒に授業を進め、「ぐんぐんコース」は自力解決の時間が多くなります。



両方のコースが、小数×小数の答えを求める方法を学習しています。

### 音楽の授業 いろいろな動物になり切ります！

2年生の音楽の授業でした。3階から楽しそうな歌声、元気な歌声が聞こえてきたので、見に行ってみました。すると、歌「はしの上で」の歌詞の中に「〇〇がとおる」という言葉があって、その動物がどんどん変わっていった。子どもたちがその動物になり切りながら歌を歌い、ポーズをとっていたのです。「へび」「ぞう」「きりん」「とり」・・・と、いろいろな動物が先生から出されると、さっと動きを変えて楽しそうでした。



「とり」が通るよ！大鷲、小鳥、いろいろ！